

教育センターだより

令和5年度 第1号

黒部市教育センター

総合的な人間力を高めるには

黒部市教育センター 所長 岸 泉

教師に求められる資質能力の一つに「総合的な人間力」とあります。働き方改革の目的の中にも「自らの授業を磨くとともに、その人間性や創造性を高め、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことができること」といった文言を見かけました。それ以来、ずっと「そんなに趣味も特技も多いわけでない自分に、人間的な魅力ってあるのだろうか。『疲れた、忙しい』を絵に描いたような生活をしているようでは、未来を担う子供たちに教師の魅力なんて感じてもらえないのも当然だ……」と気になっていました。では、一体どうしたら人間力、人間性が高められるのでしょうか。

そんなとき、普段なら行くことのない大島絵本館に立ち寄る機会を得ました。そこでは絵画の個展が開かれていて、偶然にも画家の菅野純子さんと話をしていたのが、久々に会った友人だったことで菅野さんとの話の輪の中に入ることができました。その後は、びっくりするくらいに菅野さんの話に引き込まれ、個展の「花-野性」の絵画を見ながらのあっという間の時間でした。以下は菅野純子さんとの会話の中で特に心に残った話です。

- （たくさんの草花の絵の中でも、このアザミの絵に特に惹き付けられると言うと）
草花はね、一生懸命生きているの。その「りん」として生きる姿を描きたくて描いてるの。アザミには思い出があってね、中学校のときの国語の先生が「アザミは自分にとげがあるのも知らずに生きている。それが愛おしい」って話をされたのが忘れられない。そこに咲く、その存在に学ぶのよね。それにね、そんな素敵な話をされる国語の先生が大好きだったから国語の授業も好きだったわ。
- こういう個展を開くのは大変だけど、いつもボランティアの人たちに助けってもらっているの。ボランティアの方の中には子供4人もつれて手伝ってくれる人もいる。私は人に頼って生きているの。弱いところがあれば助けてもらえる。こういう個展を開いていると、いろんな出会いがある。それが楽しくて続けてこられる。
- わたしは、昔から絵を描くことが好きだったけど、それを周りの人が「上手だね」とほめてくれた。それがうれしくて画家になっていた。これって教育の根本よね。

菅野さんと話をした後、私はそれまでよりもちょっと人間力が高まったような気がしました。きっとそれは、素敵な絵画を鑑賞したから、草花の生き方に心を傾けることができたから（特に、アザミの姿に自分を重ね反省できたから）、たくさんの人に助けってもらうことの意味を考えたから、何より菅野純子さんとの出会いがあったから……。



「総合的な人間力」は、とても大きくて、捉えにくいものだけど、やはり、日々たくさんの人や物と対話して、いろんな考え方に触れて、得られるものを自分の中に吸収していくことで高められるのだろうと改めて納得した日でした。

令和5年度 黒部市教育センターの運営について

4月28日(金)第1回運営委員会を開催

本年度の事業計画についてご審議いただきました。下記に示した運営の基本方針並びに重点項目に基づき、いただいたご意見を踏まえ、事業を進めていきたいと考えております。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

教育センター主催の研修事業については、ホームページをご覧ください。



◆ 令和5年度黒部市教育センター運営委員（敬称略）

運営委員長	大坂 由喜子（小学校長会会長）
運営副委員長	柴田 由明（中学校長会会長）
運営委員	小倉 信宏（学校教育課長）
	庭田 順子（学校教育班長）
	浦田 武治（こども支援課長）
	齊木 裕（小学校教育研究会会長）
	川端 浩嗣（中学校教育研究会会長・生徒指導連絡協議会会長）
	平田 恩（帰国児童生徒教育研究会会長）
	飛弾 英樹（小中学校教頭会副会長）

1 運営の基本方針 ～黒部市教育の一層の充実～

学校や関係機関との連携を密にし、時代の変化に対応するとともに、地域・学校の要望に応えられるセンター運営を目指す。

2 重点目標項目

- ① 児童生徒の学力・体力向上、教員の資質向上を目指す研修会の実施
- ② 黒部国際化教育の充実を図る研修会の実施
- ③ 生徒指導・教育相談の充実（いじめ、不登校、特別支援教育の推進）
- ④ 学校教育を支援する調査・研究の推進
- ⑤ 迅速な教育サービスの提供

<運営委員会での主な意見>

- ・ ICTの普及に向けて、だれもが授業や校務でICTを活用できるように研修を進めていかなければいけないのではないかと。
- ・ 情報担当者だけでなく、各担当者が協力し合って研修を進めていくことでICTの活用幅が広がると思われる。
- ・ 不登校対応について、現場ですぐに生かせる研修は有り難い。今後も教育センター、教育支援センターとの連携を図りながら対応していきたい。
- ・ これまでコロナ禍で幼・保・小の連携が思うようにとれなかったが、今後積極的に声を掛け合って連携をとり、子供を取り巻く課題に対応していきたい。
- ・ 予定されている研修は、参集できない場合になっても、リモートで開催できるようにしてほしい。



1 学期に実施した研修についてお知らせします

【学級経営研修会 4月5日(水)5月12日(金)7月7日(金) 参加者…新規採用】

今年度、黒部市では13名の教員が新規採用となりました。同じ状況の者同士が定期的に集まって、頑張っていること、悩んでいること等を情報交換することで、互いに共感し合い、同期採用の仲間意識を高めています。

【いじめ問題等研修会 4月18日(火) 参加者・・・市内教頭先生】

黒部市教育委員会 庭田 順子学校教育班長より指導講話をいただきました。令和4年度のいじめ・不登校の状況から、いじめ見逃し0を目指す取組や不登校児童・生徒への対応について共通理解を図りました。

【学力向上研修会 第1回：5月10日(水) 参加者・・・推進校の先生】

東部教育事務所 主任指導主事 峠 修一 先生を招聘し、「令和のとやま型教育推進事業に向けて、ICTを活用した基礎的な読解力、数学的思考力、情報活用能力等を育成するための授業について」という演題で、推進校(桜井小、若栗小、明峰中)の先生方へ、講話をいただきました。その後、推進校で今年度、取り組もうとしていることや進めるに当たっての不安や困っていることなどを情報共有しました。

【生徒指導主事等研修会 第1回：5月17日(水)第2回：6月16日(金)

参加者・・・生徒指導主事、カウンセリング指導員等】

この研修会は、生徒指導主事やカウンセリング指導員等の連携を深め、指導力の向上を図ることを目的として年間4回開催しています。

第1回は、黒部市教育センター 指導主事・特別支援教育コーディネーター 林 真奈美 先生から、「児童生徒理解について」という演題で話をしていただきました。その子は何に困っているのか、支援を必要とするのは、どの場面なのか、どのタイミングなのか、チームで考え、行動することの大切さについて学ぶことができました。



第2回は、明峰中学校 カウセリング指導員 藤田 秀樹 先生から「人間関係づくりの実践」という演題で話をしていただき、参加者全員で演習をしました。人間関係づくりゲームは、すぐに学校で実践できるものばかりで、大変有意義な時間でした。

【情報教育研修会 6月7日(水) 参加者・・・市内の希望された先生等】

プログラミング教材を実際に使ってみて、授業への活用の仕方を考えていこうという目的で、吉田科学館の協力の下、日本マイクロソフト株式会社から講師に来ていただき研修を行いました。使ってみたのは教育版マイクラです。実際に取り組んでみて、子どもたちがすぐに興味をもつだろうことは予想できました。今後、ネット環境のことや使い方や使用目的等の検討が必要と思われます。



教科書展示会 6/16(金)～7/5(水) 教育センターにて開催

令和6年度から採択される小学校の教科書を中心に、現在使用されている小・中学校の教科書、検定を通ったすべての教科書が展示されました。熱心に教科書を読む参観者の姿が見られました。



理科自由研究・発明くふう参考展 6/24(土)～7/2(日) 吉田科学館にて開催

夏休みを前に、今年度の作品制作の参考となるようにと、昨年度、魚津市、黒部市、入善町、朝日町の小・中学校から県の科学展覧会や発明くふう展に出品された作品を一堂に展示しました。



ようこそ黒部市へ よろしくお願いたします

今年度、市内小・中学校に赴任されたみなさんです。(学校順に掲載)



「自分らしい生き方を見付ける」

生地小学校 校長 河内 崇

「去年もやったから、今年も同じことをやるのは楽だけど、何も変わらない。何のために実験するのかをよく考え、実験自体が目的にならないよう」と言いながら、配線コードをよく燃やしていた恩師がいました。繊細な人なのか、おっちょこちょいな人なのかよく分かりませんが、30年前の教えが今にしっかり生きています。正解とか不正解とかは関係なく、自分らしく生きられる環境や人をたくさんつくっていきたいと思います。

「黒部ふたたび」

たかせ小学校 教諭 扇谷 元基

この度、黒部市へ異動となり、心から喜びを感じています。新卒の頃、黒部市内の小学校で勤務し、たくさんの素晴らしい経験をさせていただきました。今年も子供たちとの素敵な出会いを楽しみにしています。子供たちの成長を最優先に考え、創造的な学びの場を提供し、地域とのつながりを大切にしていきます。笑顔や感動を分かち合いながら、心地よい学びの空間を築き上げたいと思います。

「先生方の姿から」

石田小学校 教頭 中森 晴美

6年ぶりに黒部市に勤務することになり、大変嬉しい気持ちと同時に、コロナ前の学校しか知らない私に何ができるかという不安もありました。しかし、石田小学校の先生方がそれぞれの立場で真摯に取り組まれる姿、相手を思って自分の時間を惜しんで助け合う姿に大きく心が動き、「私もがんばりたい」という思いが沸き上がってきました。子供たちのため、先生方のために、精一杯努めていきたいと思います。

「感謝の気持ちを忘れずに」

村椿小学校 教頭 松嶋 隆徳

3年ぶりの学校勤務となりました。子供たちの明るい声が絶えず飛び交う学校は、活気に満ちていていいなあと感じるこの頃です。子供たちの元気な姿、先生方のお力添えに支えられ、日々過ごせていることに感謝の気持ちでいっぱいです。これからも感謝の気持ちを忘れずに、子供たちや学校、そして愛する郷土黒部のために貢献できるように尽力したいと思います。

「初任の地に戻って」

中央小学校 校長 平田 恩

平成元年度に新規採用教員として中央小学校に配属され、平成5年度まで5年間を勤務しておりました。そして、今年度、およそ30年ぶりに中央小学校の校長として戻ってくることにになり、新採当時のワクワク、ドキドキした気持ちであります。校長として、中央小学校のキャッチフレーズである「5つの花（あいさつの花・なかよしの花・ペンギョウの花・げんきの花、せいとんの花）をさかせよう」を合い言葉に、子供たち一人一人が個性いっぱいの美しい花を咲かせることができるように学校、家庭、地域が一体となって取り組めるように努めていきたいと思います！

「新たな出発」

中央小学校 教諭 松田 亜紀菜

私の教員人生は立山町から始まりました。振り返ってみると、20代は様々な学年の担任と校務分掌から仕事のやりがいを知り、30代は少しずつ得た経験を生かして仕事に邁進できた時期でした。この春から、生まれ育った黒部市で、働けることを嬉しく思います。「仕事の糊代を大事に、進んで動く」姿勢を忘れずに、子供たちや同僚との関わりを大切にして教員としての自分を磨いていきたいと思います。

「黒部市に着任して」

荻生小学校 教諭 深本 未央

この度、立山町から黒部市に着任してきました。初めての黒部市で分からないことも多くとも緊張していますが、毎日先生方に聞きながら、子供たちと楽しく過ごすことができています。これから、立山町で学んだことを生かして頑張っていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

「荻生小学校に着任して」

荻生小学校 養護教諭 松本 美里

立山町の中学校から異動し、3年ぶりに黒部市で勤務することになりました。荻生小学校は教室のすぐ隣に保健室があり、元気な声がいつも聞こえてきます。素直で元気いっぱいの子どもたちから、日々エネルギーをもらって過ごしています。子どもたちにとって、嬉しいことも困っていることも安心して話せる相手となれるように、精一杯努めたいと思います。

「鉾ヶ岳歩行会に参加して」

宇奈月小学校 校長 齊木 裕

宇奈月小学校には、6年生対象の鉾ヶ岳歩行会という行事があります。50年間続いている伝統的な活動です。保護者や地域の方がたくさん付き添うことで、子供たちは安全に登ることができます。今年度も「もう少しだ。がんばろう。」「ゆっくりでいいよ。」と声をかけ合い、励まし合い、全員が頂上まで登り切りました。山頂に着くと自然と拍手が起こったのが印象的でした。毎日が、子供たちの素敵な姿の発見の連続です。

「ふるさと黒部で」

明峰中学校 校長 川端 浩嗣

修学旅行の帰り、黒部 IC を下りたバスの車窓から、富山湾に沈みゆく夕日とオレンジ色に輝く黒部の風景が見えました。息をのむほどの美しい光景に、県外での見聞を広めてきたばかりの生徒たちも、ふるさと黒部のすばらしさを再認識したに違いありません。

私も、久しぶりにふるさと黒部に戻って学校現場で勤務することになり、感動と再発見の毎日です。感謝の心でがんばります。

「生徒のよさをのばしたい」

明峰中学校 教諭 笹島 裕子

話を聞くときは話を聞く、自分をさらけ出して自分の意見を言い合う、周りの生徒がその意見を認める、リーダーが新しい意見を提案し、皆で協力して実践する、というように、生徒から素晴らしい場面をたくさん見せてもらっています。毎日のように生徒を褒めることがあり、やりがいをもって勤務させていただいております。これからも生徒たちのよさをたくさん見付け、そのよさを伸ばせるように支援していきたいと思います。

貸し出し本が増えました！

日々の悩みを解決するヒントや、明日からの授業の手がかりが見つかるかもしれません。

研修会等でお越しの際に、一度手に取ってご覧ください。

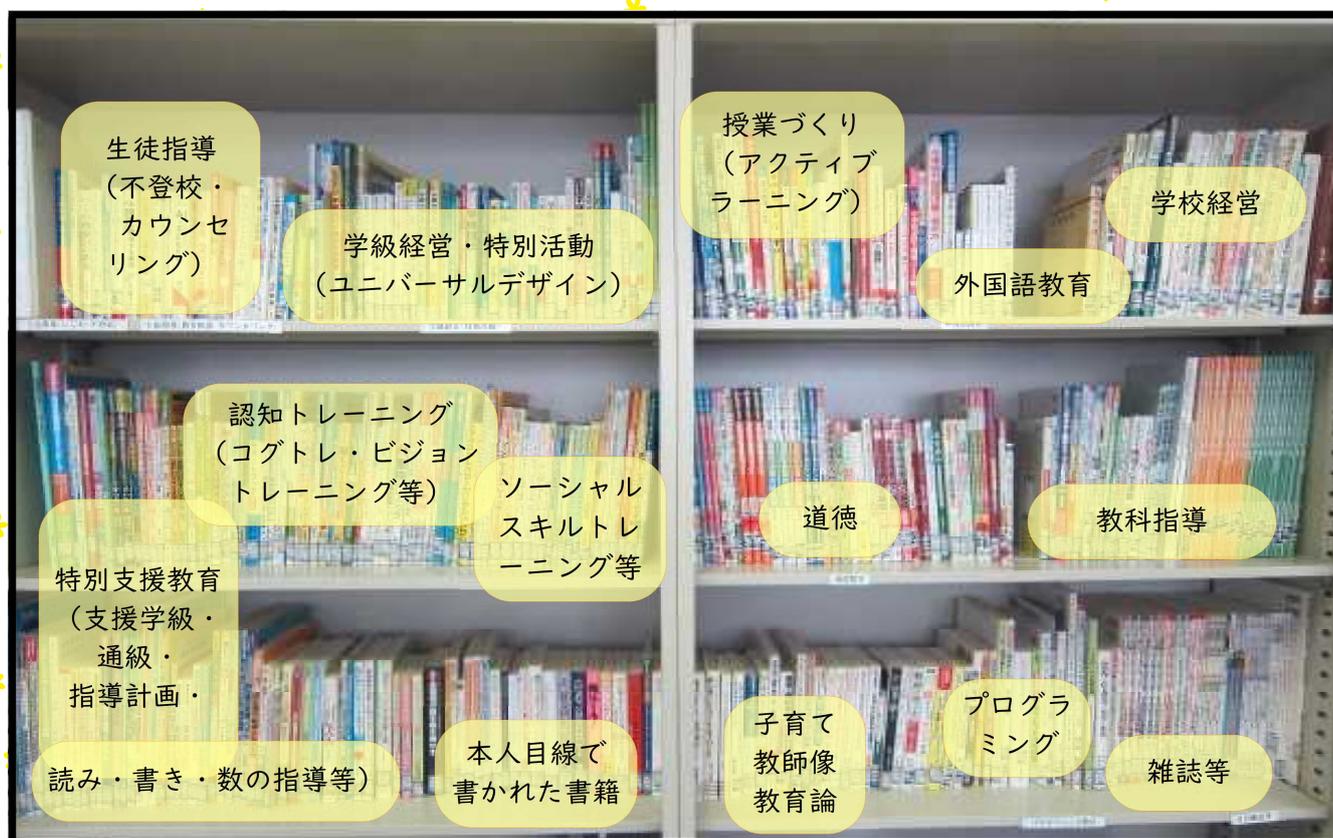
新刊についてはホームページでもお知らせしています。



近々入荷予定の書籍

- ・SEL（ソーシャルエモーショナルラーニング）関連の本
- ・「学級経営すきまスキル」シリーズ
- ・特別支援教育の教材・活動のアイデア関連の本 など

ご希望の書籍がありましたら、電話かメールでご連絡ください。
黒部市内であれば、市庁舎の棚を通して貸し出しします。



【黒部市教育センター貸し出し用本棚】

ボードゲームを貸し出します！

SSTボードゲーム「フレンドシップアドベンチャー」

- ・対象：小学4年生～中学生 2名～6名
- ・すごろく式のゲームをしながら、楽しく SST が学べます。自分らしさに気付き、自信をもって友達づきあいができるようになるために開発されたゲームです。



センターからのお知らせ

おたすけ箱をご活用ください！

☐ 学校間共有 > ☐ 黒部市教育センター > ☐ 30 おたすけ箱

多忙な先生方が、〇から教材を手作りしなくてもよいように、「使えるものはみんな で共有しよう！」ということで、フォルダ「おたすけ箱」があります。 ご活用ください！

＜入っているもの＞

- ・「30分でできるケース会議」の資料
- ・指示カード
- ・熟語カード
- ・都道府県名カード
- ・言葉の宝箱カード
- ・インタビューゲーム
- ・計算フラッシュカード
- ・学級担任用支援ツール（総教セ2017）※対人関係ゲーム関連

これからも、教材のデータ、手作り教材や市販の教材の紹介など、お互いに提供し合える「おたすけ箱」にしていきたいです。皆さんからの教材やツールの紹介もお待ちしています。

検査セットを貸し出します！

☆センターでは次の検査セットを貸し出しています。ご活用ください。

＜貸し出し検査一覧＞				
検査名	出版社	適用範囲	実施時間目安	内容・特色
⑨ 新版 構音検査	千葉テストセンター	幼児～成人	-	構音の誤りの有無を系統的に判定診断し、構音治療の指針が得られる。
『見る力』を育てるビジョンアセスメント	学研	小学1年生～6年生 (中学生以上は参考値)	短縮版：40分 完全版：60～70分 補助検査：5～10分	3領域（視知覚、目と手の協応、眼球運動）の視覚関連基礎スキルを、10種類の下位検査でアセスメント。弱点の改善を行うドリル付き。
PVT-R 絵画語い発達検査	日本文化科学社	3歳～12歳3カ月	15分	基本的な語いの理解力の発達度を測定。
S-M社会生活能力検査 第3版	日本文化科学社	乳幼児～中学生	15分（日常生活をよく知っている大人が回答）	自立と社会参加に必要な生活への適応能力を測定。身辺自立、移動、作業、コミュニケーション、集団参加、自己統制の6つの領域から構成。
Vineiland-II 適応行動尺度	日本文化科学社	0歳0カ月～92歳11カ月	20分～60分	個人的、または社会的充足に必要な日常活動の能力を評価。様子をよく知っている回答者に半構造化面接を行う。
田中ビネー知能検査V	田研出版	2歳～成人	30分～1時間	日本人の文化、パーソナリティ特性、生活様式に即した問題内容。年齢尺度で構成。
就学児版 田中ビネー知能検査V	田研出版	5～6歳	30分～1時間	就学に関して特別な配慮が必要であるか否かの診断に特化。
WISC-IV知能検査	日本文化科学社	5歳0カ月～16歳11カ月	60～90分	10種類の下位検査と5種類の補助下位検査で構成され、5つの合成得点(全検査IQと言語理解指標・知覚推理指標・ワーキングメモリー指標・処理速度指標の4つの指標得点)を算出。

★ 令和5年度 情報教育研究委員・外国語教育研究部員 ◎委員長(リーダー)○副委員長

	情報教育研究委員	外国語教育研究部員
生地小学校	笠井 浩信	◎村椿 勝、 中坪 尚世
たかせ小学校	◎能澤 紀子	宮崎 史夏
石田小学校	光林 翠	北村 百合
村椿小学校	山崎 優菜	小西 智之
中央小学校	○朝倉 貴泰	池亀 未央
桜井小学校	西郷 佳那子	中山 智成
荻生小学校	高松 知樹	◎山田 香里 平野 梨恵
若栗小学校	石橋 卓也	石橋 卓也
宇奈月小学校	高澤 光	佐渡 さやか
清明中学校	野坂 俊彦	山田 尚平
明峰中学校	舟根 慎	遠渡 こずえ



★ 教育センターの職員紹介

- | | | |
|--------------------------|-----------------|---|
| ☆所長 | 岸 泉 | ・企画、運営 ・市教委、学校との連絡調整 ・調査、各種報告書
・ほっとスペーススペース「あゆみ」の管理・運営・視聴覚教材 |
| ☆指導主事・
研究主事 | 大上戸 剛司 | ・研修会の企画、運営・県教職員研修の受講申請、計画書、報告書
・学校訪問研修・外国語教育の充実や研修・教育相談 |
| ☆指導主事・
特別支援教育コーディネーター | 林 真奈美 | ・特別支援教育への指導助言 ・幼・保・こ・小・中の連携推進
・吉田科学館での団体学習・教科書センター・教育相談 |
| ☆研究主事 | 延山 麻理子 | ・帰国児童生徒教育 ・センターの庶務、予算・経理 ・教育相談
・科学展、発明くふう展 |
| ☆校務助手 | 高瀬 緑 | ・センターの業務 ・教材の印刷、整備、保管 ・文書の受発整理 |
| ☆SSW | 板東 由美子
能沢 一代 | ・教育相談(家庭訪問等) ・関係機関とのネットワーク構築
※坂東SSW→清明・明峰中校区、能沢SSW→教育センター |
| ☆いじめSW | 神子 満美子 | ※神子SW→教育センター |

★教育支援センター ほっとスペース「あゆみ」(場所:黒部市新牧野220 勤労青少年ホーム内)

- | | |
|----------|---|
| ☆運営の基本方針 | ・不登校の児童生徒の実態に即し、社会的自立を目指して成長発達に役立つ活動を実施する。
・相談活動により保護者の心の安定を図るとともに、保護者と連携して児童 生徒の支援を行う。
・学校との連携を密にし、児童生徒と保護者を支える。 |
| ☆開設時間 | ・児童生徒の受け入れ・・・火曜～金曜 9:00～15:00
※ 夏季休業中は火、木のみ9:00～15:00 開所
・相談(電話・面談)・・・火・水・金曜 9:00～16:00
木曜 9:00～17:00 |
| ☆指導者 | ・教育相談員 根塚 昌志
・指導員 松島 知重美・内橋 順子 |
| ☆活動内容 | ・教科指導(個別学習)、運動、工作、実験、校外活動等
・教育相談活動場所は、勤労青少年ホーム内2階です |

